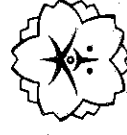


No.37

発行/奈良市議会
編集/奈良市議会だより
編集委員

奈良市議会だより



〒630 奈良市二条大路南1-1-1
奈良市議会議務局
☎(0742) 34-4734



大きな手づつくりかたをたれより早くも早く (椿井小学校)

十一月定例会

定例会初日の招集あいさつの中で、市長から海外の姉妹都市、友好都市との交流についての報告がありました。

まず、キャンベラとの姉妹都市提携について、去る十月二十六日に、ACT(オーストラリア首都特別地域)政府

平成五年十二月定例会は、十二月三日から二十三日までの二十日間の会期で開きました。今定例会では、平成四年度歳入歳出決算の認定についての報告二件と、水道事業給水条例の一部改正など議案二十五件、請願書一件、議員提案の意見書六件、同決議一件を審議し、請願書一件を除き原案どおり可決しました。

水道事業給水条例改正案を可決 四年度歳入歳出決算の認定も

首席大臣のローズマリー・フレット女史との間で姉妹都市提携の宣言に署名した。今後、文化、経済、スポーツ等々の交流を積極的に進め、将来の両市の子供たちに大きな財産を引き継ぐことができるよう取り組みたい。

次に、去る十一月七日、中国西安市で友好都市提携二十周年を記念して開催されたシルクロード国際マラソン・西安城壁大会は、盛況裏に終え、新たな歴史のページが生まれました。また韓国慶州市の前市長李源植氏(現慶尚北道副知事)と慶州市民一行が、自然食講習指導と友好交流のため、十二月六日から八日まで来寧される。市はまさに国際的な裾野に立ち、友好の輪を広め、世界平和の実現に寄与しているところであると述べられました。

今定例会では、九人の議員が質疑・一般質問(要旨は二・三面に掲載)を行いました。平成四年度歳入歳出決算の認定については、十五人で構成する決算特別委員会を設置して審査を行い、また、水道事業給水条例の一部改正と今定例会に提出のあった奈良市水

平均28.11%引き上げ 経済水道委員会で審査

経済水道委員会は、十二月十三日から十五日までの三日間開催し、慎重に審査を行った結果、水道事業給水条例の一部改正は原案どおり可決し、請願書は不採択となりました。以下は、委員会での審査の主な内容です。

ダム関係費の割合

問 料金改定要因に占める布目ダム関係費の割合及び建設事業費の精算状況は、
答 単価で平均三十五円二十八銭の値上げのうち二十九円八十八銭、約八五%を占めている。建設費は約六億円で、奈良市の総負担額は約二百四十二億円となり、平成四年から毎年約十七億円を、平成十二年以降は約二十一億円を償還する。

布目への参加経緯

問 布目ダム建設事業等への参加を決めた経緯は、
答 西部地区の発展等人口急増により昭和四十一年に断水が起き、須川ダムだけでは安定供給ができない事態となったため、将来木津川上流のダムに参加するとの条件の下に木津川からの暫定水利権が認められた昭和四十二年の時点である。

水源開発は国で

問 水源開発事業に対する国の責任及び一般会計からの繰り出し基準の改善は、
答 本来、水源の担当では

消費税を転嫁

問 消費税を速やかに転嫁しなかった理由は何か。また、国に対し水道水を消費税の対象から外すよう陳情を行ったか。
答 消費税法施行当時、生活必需品についての消費税の

懇談会等設置を

問 答申で提言している市民等と意見交換のできる懇談会等設置の考えは、
答 県に設けられている懇談会を参考にして来年度設置し、市民の要望、意見を聞かせていただき、経営に反映していきたい。

管申の反映内容は

問 今回の料金改定に際し、水道事業等料金審議会の管申を反映した内容は何か。
答 生活用水である口径一三ミリの基本料金の平均上昇率をできるだけ抑えたこと、消費税を転嫁することなどである。

借り換え条件緩和を

問 企業債の借り換え条件の緩和を国へ働きかけないのか。
答 国が借り換えを認める際の条件は厳しく、本市には全く当てはまらない。条件緩和を、日本水道協会、県を通じて何回となく陳情している。

請願

今定例会に提出された請願書は次のとおりです。
▽奈良市水道料金の値上げに反対し、水質の保全を求める請願書
請願者 〇〇〇〇〇〇〇〇 医療法人平和会理事長 市川健氏
外五、四一六名
(不採択)

おいしい水とは

問 水質検査体制の充実内容と清潔でおいしい水の根拠は何か。
答 水質試験機器の整備、人員の確保などにより、新水質基準項目すべてを自己検査できる体制にある。厚生省が示した快適水質項目の十三項目を満たしており、清潔さ、おいしさの要件を備えている。

企業努力の内容

問 今日まで行ってきた企業努力と今後の取り組みは、
答 口座振替推進や事務事業の一部委託、工事の共同施工による経費節減、職員数の抑制、不用品の売却等で経営を維持してきた。今後は、直接集金制の廃止、県水受水量の減水や公社設立についても検討したい。

見直しの話もあり、全国的にもかなりの都市で見送りされている中、市民感情にも配慮して、次回改定時まで転嫁を見送った。また、日本水道協会から政府に対し、生活必需品である水に税をかけるのはそぐわないと陳情している。

質の保全を求める請願書は、経済水道委員会に付託して審査を行いました。
市長から提案の報告二件、議案二十五件はすべて原案どおり可決しました。このうち人事案件では、公平委員会の委員に楠本正俊氏を、監査委員に東口幸司氏をそれぞれ再任することに同意しました。
なお、請願書一件は不採択となりました。
この外、議員提案の意見書六件、決議一件を原案どおり可決して十二月定例会を閉会しました。

国の責務であると考えている。一般会計からは交付税算定の基礎となる三分の一相当額を繰り出している。

答 弁

問 今後の財政見通しと平成六年度予算への対応は。

答 所得税減税の動きもあり増収等は流動的ではつきりとした見通しの立てられない状況にある。徴収率の向上に努め、使用料、その他収入についても住民負担の公平性の確保など、より一層適正化を図ってまいりたい。平成六年

〈本会議〉 平成六年度予算への対応は 人・事・物にやさしい市政の推進

十二月八、九、十日に開かれた本会議では九人の議員が質疑・一般質問を行いました。今定例会では、平成六年度予算への対応や国民健康保険財政などの外、行政姿勢、経済、環境、都市整備、福祉、教育などの諸問題について質問がありました。以下は、その質問と答弁の要旨です。

政 財 深刻さ増す経済情勢 市の財政見通しは

問 今後の財政見通しと平成六年度予算への対応は。

答 所得税減税の動きもあり増収等は流動的ではつきりとした見通しの立てられない状況にある。徴収率の向上に努め、使用料、その他収入についても住民負担の公平性の確保など、より一層適正化を図ってまいりたい。平成六年

度予算については、経常経費は原則マイナス〇%シリングを実施し、経費の一層の節減合理化に努め、せい肉を落とした予算にしたい。しかし、投資的経費については必要に依り的確に対応したい。いずれにしても、人・事・物にやさしい市政の推進を図り、やさしさの心を市民に普及したい。

国保料引き下げを 八億円余の黒字

問 国民健康保険財政の平成四年度決算は八億円余の黒字である。この結果、一般会計からの繰入金を極端に削減しているが、繰入金は元のベースに戻し、その分、保険料を引き下げて還元すべきではないか。

答 昭和六十二年に累積赤字が十二億七千万円となったので、以後この補てん対策として繰入れを増やし赤字の解消に努めてきたが、黒字になったので適正化を図るた

経 済 不況下の 中小企業対策

問 長引く不況に市としてどう対応するのか、中小企業融資など具体策を聞きたい。

答 景気浮揚策として、公共事業の前倒しを図り上半期予算執行率は、七二・八%を達成した。また中小企業者の経営環境の悪化の緩和を目的に資金融資制度の貸出枠を当初の十二億円から二十億円に増額し、保証料も千三百万円

め減額した。しかし、法に定める保険基金安定の繰り入れと職員給与費、助産費補助、国保財政安定化支援事業分の繰り入れは行っている。一方、平成四年度の医療費は六・七%の増を示しているが、今後も伸びが懸念される中、保険料の増収は期待できないので剰余金で対応しなければならぬと思っ

限度額引き上げ 早期に実施を

問 市の無担保無保証人口事業資金の貸し付け限度額の引き上げの早期実施と金利引き下げを行うべきか。

答 中小企業信用保証法の改正が五年五月にあり、信用保証協会の保証限度額が四百五十万円から五百万円に引き上げられた。これについては県信用保証協会、取扱銀行との協議、手続きも必要であるので、早急にその実施に向か



から三千六百万円に増額した。今後も国の緊急経済対策に基づき公共事業を計画的に実施するとともに中小企業者の経営状況を把握しつつ、必要に見合った融資枠の拡大や、金利の改定等を実施していき

複合経営で安定化 農協と連携施策で

問 食糧自給率の向上と農

業の再建を図らねばならないこの時期、市の農政に対する取り組み方針を聞きたい。

答 本市の農業施策は、農業協同組合とタイアップしながら健全化に努めているところである。平たん地域では、特産物として定着しているイチゴを中心とした施設園芸や、軟弱野菜の振興に、また東部地域では、基幹作物である茶を中心に水稲、シイタケ等の複合経営で安定化を図ってきたい。いずれにしても農業協同組合と連携を保ちながら施策を進めていきたい。

行政姿勢 今、なぜ消費税が 下水道使用料に

問 次期料金改定まで転嫁を見送る方針であった消費税を、料金改定がない下水道使用料に転嫁しようとする理由

教 育 一条高校、院内受験を検討

問 高校の院内受験は、全

国で九府県以上、近畿でも京都、大阪、兵庫、滋賀で行われている。一条高校で実施する考えはないか。

答 病気等のため、所定の受験場で受験できない人は、県立高校との整合性を図り保健室で受験できるよう配慮しているが、病院での受験を希望する人については、県教育委員会と連携を図りながら実情に応じて前向きに検討して

魅力的な学校を

問 不登校を出さないよう

きめ細かな指導 校内暴力などに

問 校内暴力など問題行動の全国的な傾向は、学校規模が大きくなるほど高くなる傾向である。奈良市ではどのような傾向がみられるか。

また、先日、都南中学校で窓ガラス二百枚が割られたが、どう受け止めているのか。さらに、都南中学校の過大規模解消の進み具合は。

答 本市での問題行動は、減少傾向にあるが、陰湿かつ悪質、粗暴の傾向にあり、非行の低年齢化が進んでいる。市としては、一人ひとりに合ったきめ細かな指導の徹底を図るため、あらゆる機会をとらえ学校現場を指導し教員の資質、指導力の向上に力を入れてきた。

都南中学校の件は、これまでごく一部の生徒の暴力行為やいじめ等があったが、その都度指導主事を派遣し、連携を密にしてきたにもかかわらずこういう問題が起こったことは残念に思う。教員の衝動的な行為とこのことであるが、今後、背景や要因を明らかにして生徒へのかかわりを一層深めるとともに、学校、保護者、地域、行政が一体となって取り組みをしていきたい。

過大規模の解消は、通学区域検討委員会で審議中である。用地や校区割りの問題等々、地元の意見を十分聴き、進めてまいりたい。

は何か。

答 使用料の改定も検討したが、市民の台所への影響を考慮して見合わせた。しかし、税法の趣旨からいずればこの時期が来るということで、今回水道料金に転嫁するのと同じように転嫁を行うものである。

部落差別撤廃 条例制定検討

問 部落差別の一日も早い

問 地対財特法の法期限も

今、市では市民と共に基本法の制定に向けて努力をしている。したがって人権尊重を市政の柱の一つにあげ取り組んでいるところでもある。条例制定については、他都市の状況等を勘案して検討したい。

問 食糧自給率の向上と農

業の再建を図らねばならないこの時期、市の農政に対する取り組み方針を聞きたい。

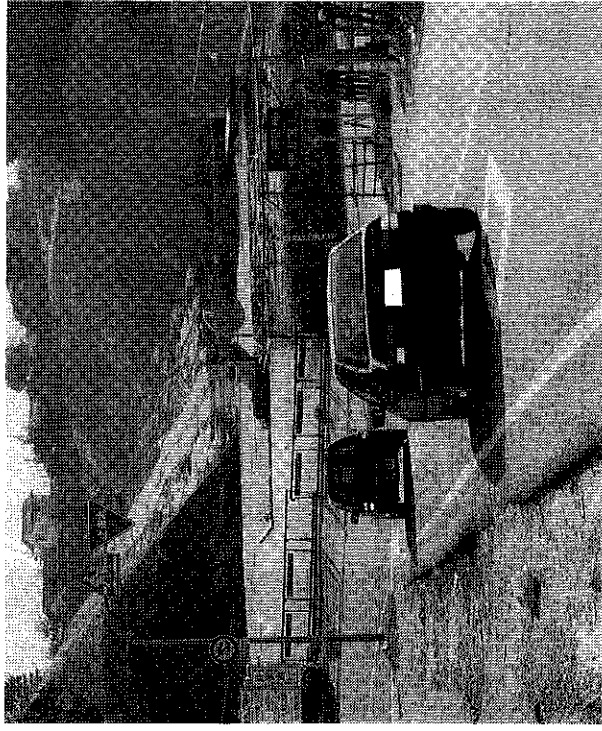
答 本市の農業施策は、農業協同組合とタイアップしながら健全化に努めているところである。平たん地域では、特産物として定着しているイチゴを中心とした施設園芸や、軟弱野菜の振興に、また東部地域では、基幹作物である茶を中心に水稲、シイタケ等の複合経営で安定化を図ってきたい。いずれにしても農業協同組合と連携を保ちながら施策を進めていきたい。

東部上水道 新年度着工

問 積水化学奈良工場の中

問 都市計画道路の重点的な整備は考えられないか。また大和中央道の進捗状況は。
答 計画決定路線六十のうち、平成四年度末の進捗率は約六五％となっている。現在十一路線の整備に取り組んでいるが、早期完成に向け努力したい。大和中央道は、延長七千四百七十メートルのうち、京都府界から南へ約一・八キロメートルを供用開始している。現在市で秋篠町周辺、県で宝来町四丁目周辺の整備を行っている。

都市整備 都計道路の重点整備と 大和中央道の進捗は



ノ川移転の進捗状況と今後の

秋篠町周辺で大和中央道を進む車が

質問と

福祉

老人保健福祉計画 新年度から事業推進

問 老人保健福祉計画の実施計画と、予算や職員配置の具体的な計画は。
また公立の特別養老ホーム建設と、民間施設の増床をどのようにして図るのか。
答 平成十一年度末までに計画を表現するため、老人保健福祉計画推進委員会に諮り、

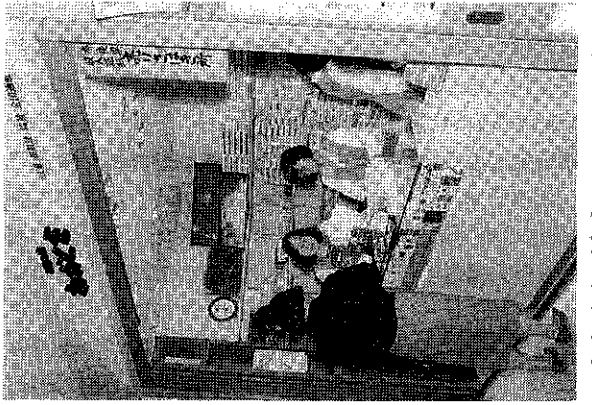
平成五年度末には年次計画策定を終え、六年度から推進に移る。新年度予算で措置し、適材適所の職員配置で当たる。公立の特別養老老人ホームやケアハウスは平成七年度の和歌園移転改築に合わせて建設する予定である。民間の増床は、平成四年度から福祉施

高齢者住宅助成 制度の創設研究

問 市独自の高齢者用住宅改造成成制度を作ってはどうか。また現在常勤、登録合わせて百人しかないホームへ

設に対する市の補助金の強化を図り、国の補助基準額を国、県、市で全額補助している。ただ実勢単価との差は設置者負担となっている。これについては、国への補助基準額の引き上げの要望と、社会福祉医療事業団からの借入金の利子補給等での援助をしているところである。

ヘルパーを老人保健福祉計画では平成十一年三百人を目標としている。どうしていくのか。
答 高齢者のための居宅増改築等に要する資金の融資は現在二百万円を限度に低利の融資を行う貸付制度がある。高齢者が心身の機能低下後も住み慣れた家庭や地域で生活していくためにも住環境整備は重要であり今後研究したい。
在宅福祉を進めるには、ホームヘルパーの確保は大変重要である。関係機関と連携して確保を図りたい。また、県のヘルパー養成助成制度の活用を図るため市民たよりなどで周知をしていきたい。



わかくさ(奈良ファミリー内)

障害者の製品販売

問 障害者が福祉作業所で作った製品の販売についてどう考えているのか。
答 奈良ファミリーで呉服体木自由母の会が中心となり、福祉の店「わかくさ」

が開設されている。作業所で製品の販売を行い、成果を収めている。
今後は、福祉作業所育成のため、他の大規模店等にも働きかけ、協力を得られるように努める

フロンガスの回収は 新年度回収装置購入

問 基本法の新たな理念にうたわれている地球的環境破壊の問題としてフロンガスがある。対応は。
答 ごみとして出される電気冷蔵庫は、年間十二万台ぐらゐである。現在は、破壊処理をしているのでフロンガスは空気中に放出しているが、新年度フロン回収装置を購入し、回収をしていきたい。また、クレーンなど環境清美工場に搬入されるまでに既にフロンが空気中に放出されているなど一つの部で対応しきれない面があるので、部間で協議して進めていきたい。

環境

問 散乱する空き缶や、捨てられたタバコの吸殻は観光客の感

情を悪くする。国際文化観光都市として、ポイ捨て禁止の条例の制定が必要ではないか。
答 一人ひとりの向上にそのような条例を考えていかなければならぬ。ぜひポイ捨て禁止条例を考えたい。

散乱する空き缶、吸い殻 ポイ捨て禁止条例制定を

低公害車への転換 基本法成立受けて

問 環境基本法の成立を受けて、市は今後どのように行政を進めるのか。環境交通課の環境保全課と交通対策課への分離、ごみ処理車などディーゼル車のLPガス車等への転換、環境影響評価の検討等について聞きたい。
答 環境基本法が制定されたことにより、環境保全対策が広範囲の分野にわたるので、方策の研究・検討等を行う行政組織の設置や環境保全に中心と理解を深める啓発事業の充実を努めてまいりたい。環境保全課の新設については、今検討課題としている。低公害車の導入については、全庁的な取り組みとして庁内検討委員会を設置し、対応に努めたい。環境影響評価については、平成三年度に奈良市環

近鉄奈良線 立体化の考えは

問 近鉄西大寺駅周辺は鉄道により市街地が分断されており、立体化が必要である。近鉄高麗駅から名古屋方面の直行線を考慮した近鉄奈良線の地下化を考えてはどうか。
答 近鉄西大寺駅周辺の抜本的な対策は鉄道の立体化事業だと十分承知している。JR奈良駅周辺立体交差事業の完成の目途がついた時点で西大寺駅周辺の立体化事業に向け取り組んでまいりたい。また、高麗駅周辺からの地下化構想については、西大寺の列車基地やその構造的な問題、これによる多大な事業費など解決しなければならない問題がある。現段階では京阪奈新線の実現に向け全力を傾注し、奈良駅以東の延伸計画は、超長期的展望に立ち対処しなければならぬと考えている。

市が支援を検討 市街地農地の宅地化

問 生産緑地の指定は終わつたが、バブル経済の崩壊により不動産関連企業のエネルギーは乏しく、良好な市街地形成ができない。個人の宅地化に市としての施策を講じる考えは。
答 国において計画的な宅地化を推進するため、区画整理事業のできる面積、現行五万平方メートル以上を五千平方メートルにするなど検討をしている。市としても、何らかの支援を

検討しなければと考えている。見直しはない。
東部地域の社会資本整備は、他地域に比べ遅れがちであり財政状況の厳しい折ではあるが整備に努力したい。また上水道の整備については、県道関係の配水管布設工事を平成六年度から着手したい。

東部ゾーンへの社会資本投資の見直しは。
答 積水の中ノ川移転については、計画面積三六・五畝のうち約九五％を取得した。残りは年度内に完了したいと考えている。用地買収手後、治水対策を行い造成に入りたい。

建築博を成功へ

問 世界建築博覧会及びトリエンナーレに多額の経費をかけた割にPR不足があったのではないかと。成功させるための積極的な取り組みは。

答 OA化の推進など事務処理体制の簡素・合理化を図り、税務関係証明事務の完全オンライン化、市民サービスコーナー設置等を実施している。今後、市民とのふれあい、やさしさを大事にする窓口の改善に努力したい。

週休二日制の対応

問 週休二日制導入に伴う対応状況及び今後の取り組みは。

答 OA化の推進など事務処理体制の簡素・合理化を図り、税務関係証明事務の完全オンライン化、市民サービスコーナー設置等を実施している。今後、市民とのふれあい、やさしさを大事にする窓口の改善に努力したい。

滞納差し押さえ状況

問 市税の滞納に伴う差し押さえ状況は。

答 四年度末約十一億二千万円の差し押さえを行い、約一億九千万円を年度内に完結した。悪質なものについては毅然(きぜん)とした態度で対応したい。

決算特別委員会で審査し認定した平成四年度歳入歳出決算額は、歳入一千四百十五億九千三百八十八万一千円、歳出二千三百五十四億二千四百六万三千円、実質収支四十二億七千三百五十三万五千円の黒字となっております。このうち、一般会計実質収支額三十七億三千七百三十四万八千円から二十億円が財政調整基金に積み立てされています。委員会は、十二月十日、十五日、十六日、二十日の四日間開催し、慎重に審査いたしました。その主な内容は次のとおりです。

決算特別委員会の審査概要

バス利用者の確認は

問 老人優遇施策のバスに要する経費及び利用者の確認方法はどのようにしているのか。

答 延べ二十万五千三百十六人の利用として、奈良交通に委託料を支払っているが、定期券的なもので実際の利用実数の把握は難しいため、いろんな利用調査も行い、平均料金を一人月八回利用されて千五百五十円として、申請のあった人数をかけて支払っている。

中国文化村の性格

問 中国文化村の公共的・公益的性格の位置づけは何か。

答 地元地域の活性化として雇用の拡大、経済効果を期待している。テーマパーク地域総合整備事業の指定を受けており、その整備事業に基づく事業に関し、積極的な推進に努めたい。

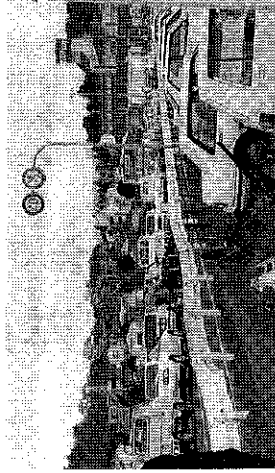
問 市税の滞納に伴う差し押さえ状況は。

答 四年度末約十一億二千万円の差し押さえを行い、約一億九千万円を年度内に完結した。悪質なものについては毅然(きぜん)とした態度で対応したい。

決算特別委員会で審査し認定した平成四年度歳入歳出決算額は、歳入一千四百十五億九千三百八十八万一千円、歳出二千三百五十四億二千四百六万三千円、実質収支四十二億七千三百五十三万五千円の黒字となっております。このうち、一般会計実質収支額三十七億三千七百三十四万八千円から二十億円が財政調整基金に積み立てされています。委員会は、十二月十日、十五日、十六日、二十日の四日間開催し、慎重に審査いたしました。その主な内容は次のとおりです。

決算特別委員会の審査概要

第4駐車場



混雑する競輪場駐車場周辺

競輪場廃止を要望

問 県に競輪場廃止の申し入れを行う考えはないか。

答 法施行後スムーズに移行できるように予防接種実施対策審議会に諮り、医師会、各医療機関と十分協議、連携の上、市民に対し啓蒙、周知を図りたい。

予防接種任意制に

問 予防接種が義務接種から任意制へと見直す提起がされているが、今後の対応は。

答 法の範疇(はんちゆう)としてで入居申込者に不利にならない取り扱いをすることは法の運用と考えられることから、今後、他市の状況も参考に改善すべく努力をしたい。

決算特別委員会で審査し認定した平成四年度歳入歳出決算額は、歳入一千四百十五億九千三百八十八万一千円、歳出二千三百五十四億二千四百六万三千円、実質収支四十二億七千三百五十三万五千円の黒字となっております。このうち、一般会計実質収支額三十七億三千七百三十四万八千円から二十億円が財政調整基金に積み立てされています。委員会は、十二月十日、十五日、十六日、二十日の四日間開催し、慎重に審査いたしました。その主な内容は次のとおりです。

決算特別委員会の審査概要

意見書

- 十二月定例会で可決し、政府等に提出した意見書は次のとおりです。
- ▽児童福祉法に基づく保育制度の拡充に関する意見書
- ▽坂本弁護士一家失踪事件の捜査に関する意見書
- ▽国民の祝日「海の日」制定を求める意見書
- ▽県立医大にクリーンルーム(無菌室)の早期設置と骨髄移植医療体制の整備、骨髄バンク事業の充実を求める意見書

決算特別委員

- 委員長 中村 誠一
- 副委員長 中村 重信
- 松田 末作 山本 清
- 米澤 保 堀田 征男
- 岡本 志郎 島崎 光治
- 松石 聖一 黒川 恵三
- 日和佐 穰甫 中西 義次
- 大谷 督 田中 幸夫
- 尾谷 進

決算特別委員会で審査し認定した平成四年度歳入歳出決算額は、歳入一千四百十五億九千三百八十八万一千円、歳出二千三百五十四億二千四百六万三千円、実質収支四十二億七千三百五十三万五千円の黒字となっております。このうち、一般会計実質収支額三十七億三千七百三十四万八千円から二十億円が財政調整基金に積み立てされています。委員会は、十二月十日、十五日、十六日、二十日の四日間開催し、慎重に審査いたしました。その主な内容は次のとおりです。

決算特別委員会の審査概要

陳情

- 今定例会に提出された陳情書は次のとおりです。
- ▽青山地区の道路建設反対に関する陳情書
陳情者 奈良市青山八丁目自治会自治会長 石濱晃氏 外一名
- ▽医療内容の向上、医療従事者の処遇改善のための診療報酬引き上げと改善及び医療機関に対する感染症等対策補助金の支給に関する意見書提出を求める陳情書
陳情者 奈良県医療労働組合連合会執行委員長 岡田 九氏
- ▽児童福祉法に基づく保育制度の拡充に関する意見書提出を求める陳情書
陳情者 奈良県障害児支援協議会会長 佐藤 浩氏

陳情

- 今定例会に提出された陳情書は次のとおりです。
- ▽骨髄移植医療体制の拡充と整備を求める意見書
陳情者 奈良県骨髄バンク事業推進と骨髄移植医療体制の拡充・整備を求める陳情書
陳情者 奈良県骨髄バンク事業推進と骨髄移植医療体制の拡充・整備を求める陳情書
陳情者 奈良県骨髄バンク事業推進と骨髄移植医療体制の拡充・整備を求める陳情書

決算特別委員会で審査し認定した平成四年度歳入歳出決算額は、歳入一千四百十五億九千三百八十八万一千円、歳出二千三百五十四億二千四百六万三千円、実質収支四十二億七千三百五十三万五千円の黒字となっております。このうち、一般会計実質収支額三十七億三千七百三十四万八千円から二十億円が財政調整基金に積み立てされています。委員会は、十二月十日、十五日、十六日、二十日の四日間開催し、慎重に審査いたしました。その主な内容は次のとおりです。

決算特別委員会の審査概要

陳情

- 今定例会に提出された陳情書は次のとおりです。
- ▽最低保障年金制度の創設等に関する意見書提出を求める陳情書
陳情者 白鳥ヒル二氏 全日本年金者組合奈良県本部 代表者 森田和三氏
- ▽国民の祝日「海の日」制定に関する意見書提出を求める陳情書
陳情者 海軍振興連盟会長 原田憲氏
- ▽骨髄バンク事業の推進と骨髄移植医療体制の拡充・整備を求める陳情書
陳情者 奈良県骨髄バンク事業推進と骨髄移植医療体制の拡充・整備を求める陳情書
- ▽障害者対策に関する新長期計画の推進に関する意見書提出を求める陳情書
陳情者 奈良県障害児支援協議会会長 佐藤 浩氏

陳情

- 今定例会に提出された陳情書は次のとおりです。
- ▽骨髄バンク事業の充実を求める意見書
陳情者 奈良県骨髄バンク事業推進と骨髄移植医療体制の拡充・整備を求める陳情書
陳情者 奈良県骨髄バンク事業推進と骨髄移植医療体制の拡充・整備を求める陳情書

決算特別委員会で審査し認定した平成四年度歳入歳出決算額は、歳入一千四百十五億九千三百八十八万一千円、歳出二千三百五十四億二千四百六万三千円、実質収支四十二億七千三百五十三万五千円の黒字となっております。このうち、一般会計実質収支額三十七億三千七百三十四万八千円から二十億円が財政調整基金に積み立てされています。委員会は、十二月十日、十五日、十六日、二十日の四日間開催し、慎重に審査いたしました。その主な内容は次のとおりです。

決算特別委員会の審査概要

陳情

- 今定例会に提出された陳情書は次のとおりです。
- ▽骨髄バンク事業の充実を求める意見書
陳情者 奈良県骨髄バンク事業推進と骨髄移植医療体制の拡充・整備を求める陳情書
陳情者 奈良県骨髄バンク事業推進と骨髄移植医療体制の拡充・整備を求める陳情書

陳情

- 今定例会に提出された陳情書は次のとおりです。
- ▽骨髄バンク事業の充実を求める意見書
陳情者 奈良県骨髄バンク事業推進と骨髄移植医療体制の拡充・整備を求める陳情書
陳情者 奈良県骨髄バンク事業推進と骨髄移植医療体制の拡充・整備を求める陳情書

決算特別委員会で審査し認定した平成四年度歳入歳出決算額は、歳入一千四百十五億九千三百八十八万一千円、歳出二千三百五十四億二千四百六万三千円、実質収支四十二億七千三百五十三万五千円の黒字となっております。このうち、一般会計実質収支額三十七億三千七百三十四万八千円から二十億円が財政調整基金に積み立てされています。委員会は、十二月十日、十五日、十六日、二十日の四日間開催し、慎重に審査いたしました。その主な内容は次のとおりです。

決算特別委員会の審査概要

編集後記

新年を迎え、心も新たに、よい三学期がスタート。一面には、梅井小学校で毎年恒例となっている新年かるた会の写真を掲載しました。今年は、ならまちや、国際理解なども題材に、一年生から六年生まで思いのこもった大きな手づくりかるたを、紅白に別かれて一枚でも多くと、競い合いました。寒風の中、読み手が読み上げると他の子供たちは一斉にかるたに走り寄り、だれよりも早く見つけようと一生懸命でした。

編集後記

新年を迎え、心も新たに、よい三学期がスタート。一面には、梅井小学校で毎年恒例となっている新年かるた会の写真を掲載しました。今年は、ならまちや、国際理解なども題材に、一年生から六年生まで思いのこもった大きな手づくりかるたを、紅白に別かれて一枚でも多くと、競い合いました。寒風の中、読み手が読み上げると他の子供たちは一斉にかるたに走り寄り、だれよりも早く見つけようと一生懸命でした。

決算特別委員会で審査し認定した平成四年度歳入歳出決算額は、歳入一千四百十五億九千三百八十八万一千円、歳出二千三百五十四億二千四百六万三千円、実質収支四十二億七千三百五十三万五千円の黒字となっております。このうち、一般会計実質収支額三十七億三千七百三十四万八千円から二十億円が財政調整基金に積み立てされています。委員会は、十二月十日、十五日、十六日、二十日の四日間開催し、慎重に審査いたしました。その主な内容は次のとおりです。

決算特別委員会の審査概要

22日	経済水道委員会
☆十一月	
1日	議会だより第36号発行
2日	総務財政委員会
17日	教育厚生委員会(現地視察後委員会)
22日	企画建設委員会
26日	内示会
"	幹事長会
"	議会運営委員会
30日	都市基盤整備特別委員会
☆十二月	
1日	経済水道委員協議会
"	政治倫理条例検討特別委員協議会及び委員会
3日	本会議(十二月定例会開会)
8日	本会議
9日	本会議
10日	決算特別委員会
10日	経済水道委員会
13日	決算特別委員会
14日	経済水道委員会
15日	決算特別委員会
16日	決算特別委員会
20日	本会議(十二月定例会開会)
22日	本会議(十二月定例会開会)

決算特別委員会で審査し認定した平成四年度歳入歳出決算額は、歳入一千四百十五億九千三百八十八万一千円、歳出二千三百五十四億二千四百六万三千円、実質収支四十二億七千三百五十三万五千円の黒字となっております。このうち、一般会計実質収支額三十七億三千七百三十四万八千円から二十億円が財政調整基金に積み立てされています。委員会は、十二月十日、十五日、十六日、二十日の四日間開催し、慎重に審査いたしました。その主な内容は次のとおりです。

決算特別委員会の審査概要